

Creating the future with you

共に価値ある未来をデザインする

SK book



SK word

明日へ、 橋を架け続ける

『コミュニケーションで、世界のあらゆる壁をなくす。』

この実現のために、私たちは橋を架け続けます。

送り手から受け手へ。日本から世界へ。

そして、共に手を取り、過去から未来へ。

みなさんの声は、私たちの最も大切な指針。

一つ一つの対話を通じて共に歩み、より良い道をつくり出します。

私たちは、みなさんの可能性を未来へとつなぐ橋を架けるのです。

橋を架け、世界のあらゆる壁をなくし、未来へつないでいく。

夜明けと共に架け続けた橋が、より良い社会に届くと信じて。

Philosophy

経営理念

個が輝き、
調和を育む器であり続けます。

Individuals thrive by being in harmony with each other.

Mission

会社の使命・根本的な存在意義

コミュニケーションで、
世界のあらゆる壁をなくす。

We overcome global barriers through communication.

Vision

会社がめざす将来像

人にとって価値あるものを共に想い、
共に創り、そして伝える。

Imagine, create, and share essential value.

Core Values

めざましい成果を生むための価値観

01. 何ごとも「Why」から始める。
Always start with "Why?".
02. 自分の言葉で語り、まず行動する。
Know your goal and act directly.
03. デザイン × テクノロジーで挑む。
Embrace design and technology challenges.
04. 「真・善・美」を大切にする。
Cherish truth, goodness, beauty.
05. いつだって遊び心を忘れない。
Never forget to have fun.

Credo

自分や会社がキラキラ輝くための 「ステキな行動」。

クレドとは、「日々の考え方や行動の基準」のこと。

クレドを実践することは、会社の「理念やビジョン」、

ひとり一人の「輝く姿」につながる「ステキな行動」といえる。

「理念やビジョン」がゴール、そこにつながる道筋が

クレドというイメージ。

いろいろな立場、いろいろな状況、いろいろな解釈があるから、

その「道幅」は広くとってある。

逆にその道幅からはみ出る場合は

「ステキじゃない行動」と判断できる。

01. 私たちは、お客様のベストパートナーであり続けます。

We will be the perfect partner for our customers.

02. 私たちは、常に期待を上回る仕事をします。

We will exceed expectations in all our work.

03. 私たちは、適正な利益を追求します。

We will pursue honest profit.

04. 私たちは、コミュニケーションの達人をめざします。

We will become masters at communication.

05. 私たちは、時間に厳しくスピーディーに行動します。

We will take time seriously and act quickly.

06. 私たちは、人の集まる場づくりをめざします。

We will create a place where people gather together.

07. 私たちは、清潔で規律正しい会社づくりをします。

We will become a clean and orderly company.

08. 私たちは、笑顔で気持ちの良い挨拶をします。

We will greet people with cheerful smiles

09. 私たちは、感謝を忘れず人のために動きます。

We will gratefully act on behalf of others.

10. 私たちは、チャレンジを続けます。

We will continue to take on new challenges.

Credo

01

私たちは、
お客様のベストパートナーで
あり続けます。

一番最初がこのクレド。

理由は他のすべての前提になるクレドだから。

「パートナー」とは、同じ目線の高さで仕事をする仲間。

じゃあ、お客様にとっての「ベストパートナー」ってなんだろう。

与えられた仕事を無難にこなすだけでは、ちょっともの足りない。

ずっと付き合いたい、一緒に何か取り組みたい、

一緒に成長したいと思われてこそ「ベストパートナー」。

相思相愛、信頼という太い絆でつながっている状態といえる。

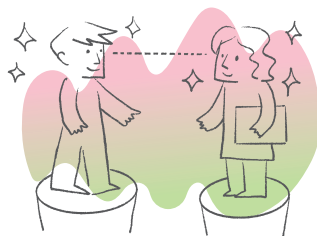
We will be the perfect partner
for our customers.

01

私たちは、お客様のベストパートナーであり続けます。



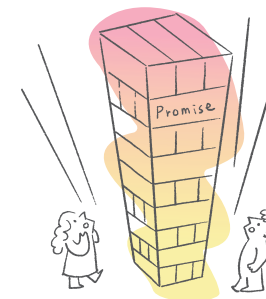
「共創」への第一歩。
語れるほど、
お客様のことを知ろう。



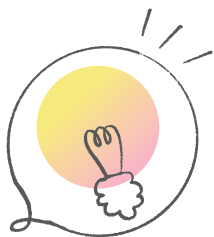
プロとしての誇りを持つ。
相手には常に敬意を払う。
それが対等な関係。



「パートナー」と「馴れ合い」は違う。
常に適度な緊張感を持ち続けよう。



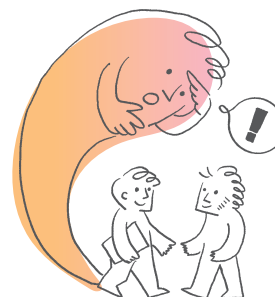
お客様との「約束」を守る。
それが積み重なったものが
「信頼」。



なぜできないかの説明はカンタン。
どうしたらできるかを提案しよう。



ミスをしたら直ぐに報告。
悪い情報も伝えてこそ
信頼が生まれる。



外部の眼としての役割を果たす。
気づいたことは率直に伝える。



人が替わっても、
お客様の「情報」と「SK品質」は
きちんと引き継ぐ。

Credo

02

| We will exceed expectations
in all our work.

私たちは、
常に期待を上回る仕事をします。

まずは「きちんと期待に応える」こと。その上の話になる。

では、どうやって期待を上回ろう。

- ① より高い品質
- ② スピードの早さ
- ③ ちょっとした気づかい
- ④ 言われる前の先回り、などなど。

アンサーではなく、レスポンスが大切。

期待を上回ったときは、相手の反応がいつもと違う。

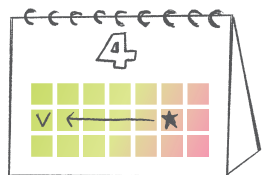
「すごい!」「素晴らしい!」「さすが!」「うれしい!」など、

感情が言葉に表れてくる。

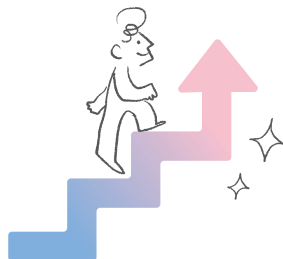
その言葉は、私たちが価値を提供できた証。

02

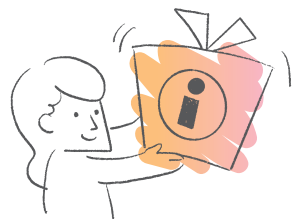
私たちは、常に期待を上回る仕事をします。



納期はデッドラインではなく、
お客様の欲しいタイミングの
少し前。



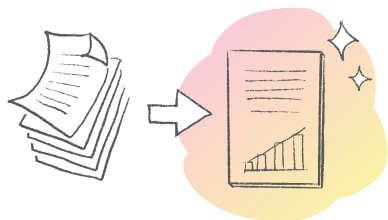
品質とは維持するものではなく、
常に向上させるもの。



お客様と話すときは
「情報」というプレゼントを渡そう。



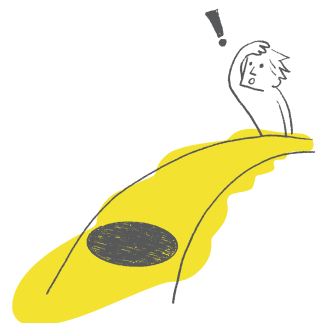
これは「自分の仕事」、
だから徹底的にセルフチェック。



「シンプル」「わかりやすい」。
これは相手に意外と喜ばれる。



もしミスしてしまったら、
対応は最優先、大至急で。



「先回り」は大切。
先々の「落とし穴」にも
気づけるようになるう。



依頼がなくても、常に「提案」。
自分のベストを「もう一案」。

Credo

03

私たちは、
適正な利益を追求します。

お客様が求めていることに、きっちり応えると「価値」になる。

その「価値」に対してお客様から対価をいただく。

そこからお給料や家賃など私たちの経費をひいたものが「利益」。

その「利益」は、私たちの将来への「投資」、

納税や雇用という「社会貢献」にもつながる。

だから、利益はとても大切。

でも、時間をかけ過ぎたり、提供した「価値」を

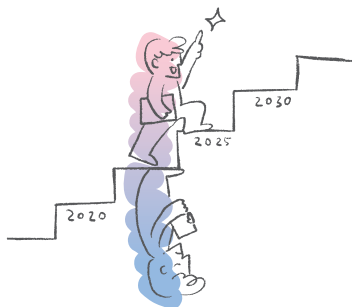
ちゃんと説明できないと「利益」は減っていく。

決して「安売り」しない、そんな気持ちが大事。

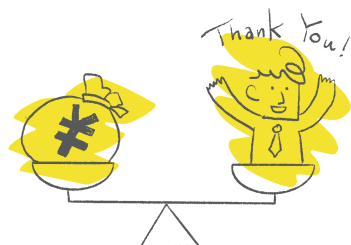
■ We will pursue honest profit.

03

私たちは、適正な利益を追求します。



時間も大切な資源。
繰り返さないように、
失敗から学ぼう。



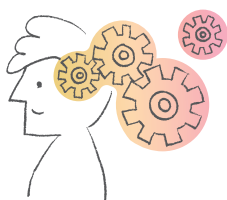
見積もりは
工数の積み上げではなく、
提供する仕事の価値。



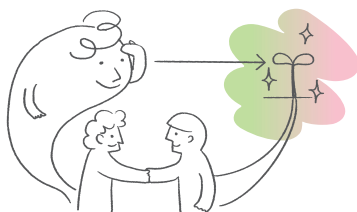
この仕事はいったいいくら？
仕事は常に値段を意識しよう。



自分の給料は会社からではなく、
お客様からいただいていると
心得よう。



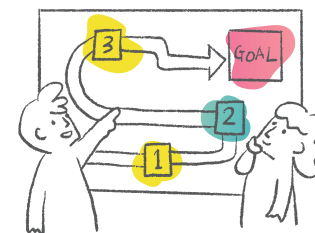
継続の仕事は、仕組化しよう。
これにより、
利益が格段に増していく。



ときには「損して得とれ!」。
目先より、
長期的な利益も考えよう。



「さすが高いですね。」
と言ってもらえる、
理由のある仕事をしよう。



仕事は全体像を共有してから
スタート。思い違いという
「大きな無駄」を省こう。

Credo

04

We will become masters
at communication.

私たちは、
コミュニケーションの
達人をめざします。

エスケイワードの仕事は「コミュニケーション」。

そして、仕事をすすめるうえで欠かせないのも

「コミュニケーション」。

だから私たちはコミュニケーションを意識し、

日々進化させていかなければならない。

相手の「気持ち」まで動かすことができれば、達人レベル。

相手にどう伝わるかを想像すれば、

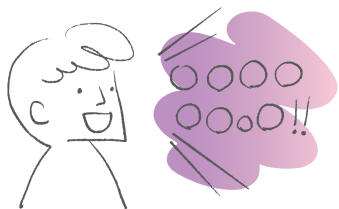
コミュニケーションの仕方が変わってくる。

まずは、きっちりキャッチボールできるという

「基本練習」から始めよう。

04

私たちは、コミュニケーションの達人をめざします。



大きい声で話す。ゆっくり話す。
それだけで、相手に10倍伝わる。



聞き上手になろう。
会話は相手6割、自分4割で
ちょうど五分五分。



名前を呼ばれるとうれしい。
だから、相手の名前を覚えよう。



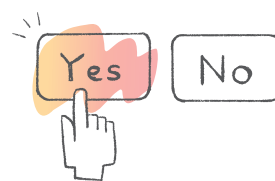
自分のことをオープンにしよう。
すると相手はとても話しやすくなる。



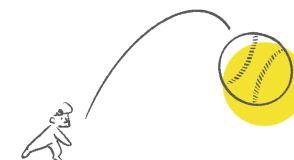
話す前には頭の中を整理整頓。
話しかけるときは
「今いいですか?」の気づかいも。



「専門用語」や「変な造語」、
その言葉相手に伝わってる?



「まあいいや」はトラブルのもと。
YES、NOをはっきりと。



ボールは投げ返して終わる。
決して手元にボールを残さない。

Credo

05

We will take time seriously
and act quickly.

私たちは、
時間に厳しく
スピーディに行動します。

時間は貴重、時間は宝だと考える。

自分の時間はもちろん、相手の時間も大切に考えよう。

そうすると自然と時間に厳しくなる。

特にビジネスパーソンにとって、「タイムマネジメント」は必須項目だ。

時間を意識すると、行動まで変わってくる。

キビキビ、シャキシャキ。

すると、またそのスピーディな行動が時間を生み出してくれる。

時間に余裕が持てると、気持ちにもゆとりが持てる。

すると、すべてが上手く回りだすから不思議。

05

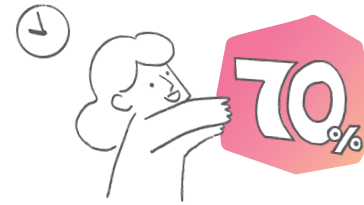
私たちは、時間に厳しくスピーディに行動します。



常に終わりの時間を決めてスタート。
1日のスケジュールも会議も。



行動の精度を上げよう。
迷わず動き出すための
シミュレーションも大切。



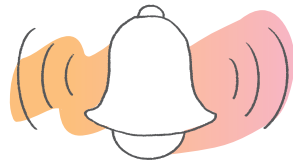
仕事の過程は70%品質で素早く。
最後は必ず100%品質。



「申し送り」は
仕事のパス回しを早くするコツ。



常に5分前行動。
訪問するときは10分前到着。



「間に合わない」という報告こそ
早めにしよう。



「悩む」と「考える」は違う。
聞けば解決することは意外と多い。



忙しそうな人は敬遠される。
常に態度にも余裕を持とう。

Credo

06

| We will create a place
where people gather together.

私たちは、
人の集まる場づくりを
めざします。

人が集まるとき、その人がエネルギーを持ってくる。

すると、「場」のエネルギーが増幅する。

そのエネルギーにまた人が集まる。

そんな循環が生まれる「場」が、会社だったらとても素敵。

歓迎の心、おもてなしの心、

気持ちの良い笑顔、活気のあるオフィス。

それらはみんなエネルギー。

来ていただいた人にエネルギーを与えられたら、

さらにエネルギーが増幅する。

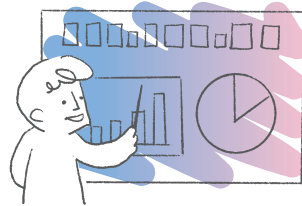
もっと人が集まる場がつくられる。

06

私たちは、人の集まる場づくりをめざします。



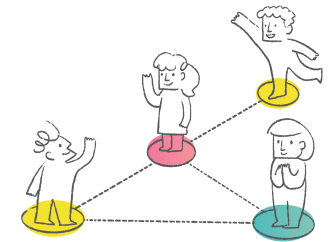
オフィスで会う人はすべてお客様。
見知らぬ人にも、すすんで挨拶。



イベント、セミナー、勉強会など、
集まる機会を
自らつくりだそう。



魅力的な人には会いたくなる。
自分の魅力で人を引き付けよう。



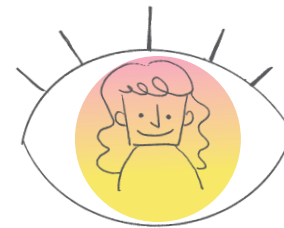
ひと声かければサッと集まる。
それには普段からの
人脈づくりが大切。



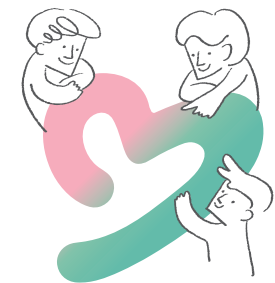
情報発信は
身近な人にも惜しみなく。
知らなきゃ人は行動しない。



人はその場の空気を感じる。
空気とは、
温度も香りも音もすべて。



視線を合わせよう。
それだけでも歓迎の心が伝わる。



おもてなしの心を持とう。
居心地の良い場には
また集まりたくなる。

Credo

07

| We will become a clean
and orderly company.

私たちは、
清潔で規律正しい
会社づくりをします。

私たちが考える「清潔で規律正しい」とは、

「自分を律する正しい行い」。

「型破り」という言葉がある。

まずは「型」を身に付け、その後「型」を破る。

基本ができた上で個性を加えること。

そんな行動や身だしなみの基本となる

「型」を身に付けると、背筋が少しピンとする。

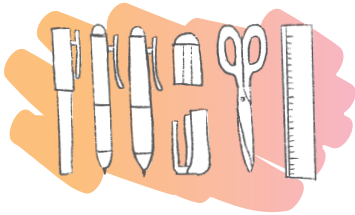
「整理整頓」もこのクレドの重要なテーマ。

キレイな職場は仕事の品質や、管理の品質や、

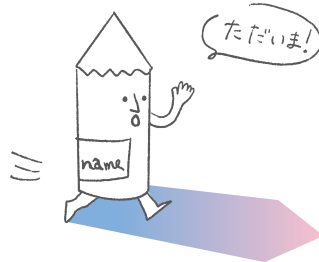
セキュリティにもつながる基本中の基本。

07

私たちは、清潔で規律正しい会社づくりをします。



「整理」とは
要らないものを捨てること。
「整頓」とは置き場所を決めること。



備品節約の心得。
持ち物に名前を付けると
迷子にならない。



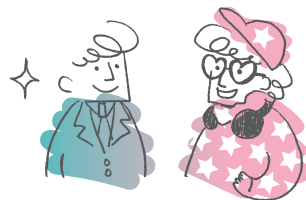
四角い部屋は四角く掃除。
心を込めると
掃除だって変わってくる。



落ちているクリップを
さりげなく拾える人は素敵。



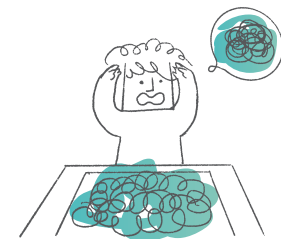
自分のルールに固執しない。
より大きなルールを守れるのが
社会人。



おしゃれは自分目線。
身だしなみは相手目線。



さっとジャケットを
羽織って打ち合わせ。
オンラインでもその気づきは伝わる。



机の上が「くしゃくしゃ」な人は、
頭の中も「くしゃくしゃ」らしい。

Credo

08

| We will greet people
with cheerful smiles.

私たちは、
笑顔で気持ちの良い
挨拶をします。

「笑顔の挨拶」は、周りの雰囲気を変える、

元気にする、明るくする。

誰でも本来持っている「ステキな笑顔」は出し惜しみしない。

「気持ちの良い挨拶」は大きな声がコツ。

そして、相手を意識して、顔をしっかり見て。

笑顔で気持ちの良い挨拶は、みんなでつくるもの。

一人がすれば、相手が変わる。

そして、どんどん伝わっていく、増幅していく。

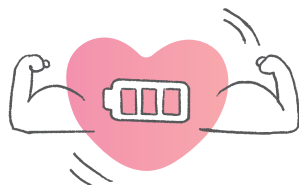
朝の元気な「おはよう！」で、その日一日が輝き始める。

08

私たちは、笑顔で気持ちの良い挨拶をします。



挨拶は
「早い者勝ち」「大きい声勝ち」。



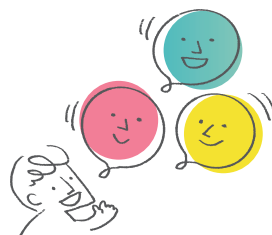
元気な挨拶は、
自分へのエネルギー充電。



空気に話しかけてない？
オンラインでは
カメラオンの配慮も大切。



お辞儀は
「首」ではなくて「腰」ですと
心まで伝わる。



ひと言で
周りを笑顔にできる人って素敵。



笑顔のトレーニング。
毎日鏡に向かって「ニコッ」。



すれ違うときには、何かひと言。
思いつかなかったら「お疲れ様！」



帰りの挨拶も元気よく。
「お先に失礼します！」は
みんなに言おう。

Credo

09

| We will gratefully act
on behalf of others.

私たちは、
感謝を忘れず
人のために動きます。

相手がしてくれたことに感謝するのはもちろんだが、

少し視野を広げてみよう。

毎日生活ができていること、仕事を依頼してくれる人がいること、

社会の様々な役割を誰かが担っていてくれること。

今まで当たり前と思っていたことも、

すべてが感謝の対象だと気づく。

感謝を感じることができたら、

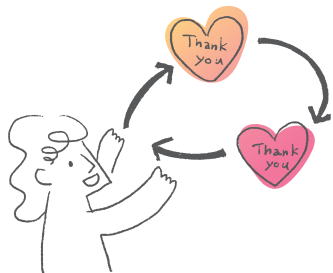
自然と「ありがとう」の気持ちが芽生え、

それを表現したり、行動してみようと思う。

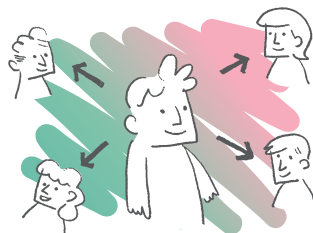
人のために動いたら、相手も自分も幸せにすることができる。

09

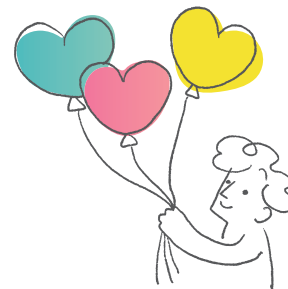
私たちは、感謝を忘れず人のために動きます。



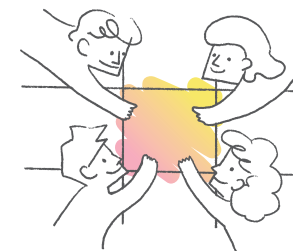
「ありがとう」は言った数だけ
「ありがとう」で返ってくる。



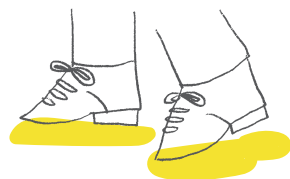
視線は「人向き」に。
「自分向き」だと
人の思いに気づかない。



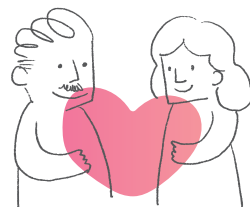
身に付けたい三配り。
「目配り」「気配り」「心配り」。



誰かがやってくれるではなく、
「中間フライ」は
すすんでキャッチ。



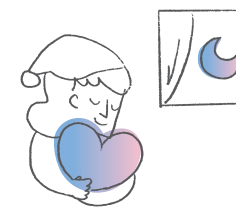
会いに行く。
選択肢のある時代だからこそ、
行為で表せる感謝がある。



忘れてない？
家族や両親への
「ありがとう」。



職場環境を支えてくれている方にも
「ありがとう」。



頑張った日には自分にも
「ありがとう」。

Credo

10

We will continue to take on
new challenges.

私たちは、
チャレンジを続けます。

「努力」と「チャレンジ」は少し違う。

上り坂を日々登り続けるのが「努力」。

「チャレンジ」は、少し高い所へ垂直跳びでジャンプするイメージ。

どちらも大切だけど、チャレンジはリスクをとまなう分、

わくわく感も成長も大きい。

チャレンジができるってことはとても幸せ。

なぜなら、失敗を許してくれる環境があるってということだから。

そしてチャレンジは、会社の理念を実現するためにも

絶対に欠かせない。

チャレンジがなければ、個は輝かない。

もちろん、新しい価値だって生み出すことはできない。



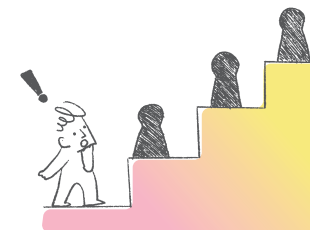
まず、「宣言」しよう。
すると、周りから支援の手が
差し伸べられる。



迷ったらやる。
やらなかった後悔のほうが
きっと大きい。



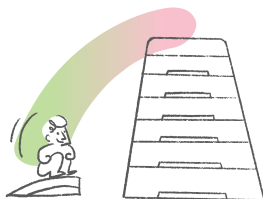
続けてこそチャレンジ。
やめない限り、
可能性はゼロにならないから。



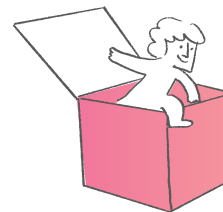
視線を上げてみよう。
すると上には上があることに気づく。



ときには「ビビる」ような
仕事を選ぼう。
無謀ではなく「勇気」を持って。



より高く跳び上がるには、
深く沈み込んで
エネルギーをためてから。



「常識」を疑ってみよう。
自分の中の常識を
超えるのがチャレンジ。



輝いている人は、
きっと陰で頑張っている人だ。

エスケイワードが大切にしている考え方を、社員ひとり一人が身近に置き行動につなげてほしいと願い、2020年に初版が制作された「SK book」。

2023年に会社が60周年を迎えるにあたり、より広く、お客様やパートナーのみなさまにもエスケイワードが大切にしていることを知っていただき、想いを共にしたいと考え、ブランドブックの意味合いを加えた第2版としてアップデートされました。

手に取ってくださった方にエスケイワードの想いが少しでも届き、共感いただけたら嬉しいです。

私たちは、明日へ橋を架け続けます。
より良い社会を目指して、共に、進んでいきましょう。

会社概要

社名	株式会社エスケイワード
----	-------------

HEAD OFFICE

〒461-0001
愛知県名古屋市中区泉1-21-27
泉ファーストスクエア9階
TEL 052-953-7161

所在地

TOKYO BRANCH

〒100-0013
東京都千代田区霞が関3-7-1
霞が関東急ビル303
TEL 03-6811-2305

創業	1963年（昭和38年）
----	--------------

<https://www.skword.co.jp/>

SK word

2024年1月1日発行

SKword